

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 竹の庵

## 目標達成計画書

作成日：平成 25 年 07月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員の質の向上とチーム介護について	利用者の重度化が進む中で、家族と職員の信頼関係は重要で、今以上に信頼関係を作るための、介護技術の向上と、どの職員が介護しても、同じサービスが提供され、利用者の満足に繋がる支援を目指していく。	職員の介護技術を、内外の研修会を通じて、向上していくことと、チームワークの取れた、介護支援に向けて取り組み、利用者一人ひとりに合わせて、職員が、心に余裕を持って、常に笑顔で関わっていくことに取り組んでいく。	12ヶ月
2		今後のグループホームのあり方について	日常生活が出来て、共同生活が出来る方が、利用出来る環境から、看取り介護まで実施していく体制に広がり、同じ職員の数で、重度化や終末期に対応していくための、検討をしていく。	利用者一人ひとりの介護サービスの内容を、再度検討し、過剰なサービスが、利用者の自立支援の妨げにならないように、職員間で話し合い、利用者の身体機能維持と、生きがいに繋がる目標を持った、暮らしの支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。